



やりたいことを見つけ、進んで行く

校長 石田 和義

本校では、登校後、そして毎週水曜日の午後から「自主活動」の時間を設けています。その時間等を活用して、子どもたちには、日頃から、自分のやりたいことを見つけ、進んで行ってほしいと願っています。

朝、グラウンド南側で、樹木の実を採ろうしている子どもがいました。見ると、手製の道具を使って、三人で力を合わせて、“すもも”を採ろうとしています。「この道具は、2段階になっていて、伸ばすと高いところの実も採れるように工夫しています。それに、下から見て、どんな実か分かるように先の部分に透明な窓を付けています」と教えてくれました。その後、「“すもも”を採って、早く先生や友達に食べさせてあげたいんだ」と答えてくれると、再び、三人で協力して“すもも”を採り始めました。



樹木の実を採取する子ども



ヤモリを育てる子ども

また、ある日の自主活動の時間、子どもたちが心配そうに水槽をのぞき込んでいました。見ると、体長5センチメートルほどの生き物がこちらを覗いています。「この生き物は何ですか？」と尋ねると、「ヤモリです」と答えてくれると、「お腹に赤い色の点ができていて心配なんだ」と、教えてくれました。

その後、子どもたちは、ヤモリを慎重に水槽から取り出すと、端末を使って写真を撮り、赤い色の点は何なのか、そして今後どうしていけばよいか真剣に調べました。今、そのヤモリは、子どもたちの世話のおかげで、元気に生きています。

持続可能な開発目標（SDGs）の意義や内容を理解して、自分のできることを考え、実践している子どももいます。廊下に貼られているポスターを見て、「ポスターにどんな気持ちを込めたの？」と尋ねると、「堀川小学校のみんなが仲良く暮らすことができたらいいです」と答えてくれました。

自ら仲間に対して、思いやり、目配り、気配り、心配りを大切にして、くらしづくりを進めています。



思いやりを広めようとするポスター

やりたいことを見つけ、進んで行くことを通して、子どもたちは、活動を心から楽しむようになり、目当てに向かって努力する自分のよさを感じたり、他人に対して優しくなったりするなど、いつしか自分らしく生きる喜びや充実感を味わっていくと考えます。

しかし、中には自らの可能性に気づくことができず、思い悩む子どももいます。そのため、学校だけでなく、家庭や地域においても、子どもが自らの可能性を発揮することができるきっかけをつくっていただければ幸いです。

地域、保護者の皆様には、やりたいことを見つけ、進んで行く子どもを大いに認め、励ましていただくよう、よろしくお願いいたします。

7月の行事予定



- 1日(火) 集金振替日
第6学年立山博物館見学
- 2日(水) 第5学年イタイイタイ病資料館見学
- 3日(木) 堀川チャレンジ活動
- 5日(金) 近隣ファミリー会・地域教育推進協議会
- 7日(月) 個別懇談会①
- 8日(火) 個別懇談会②
- 9日(水) 個別懇談会③
- 10日(木) 個別懇談会④
- 11日(金) 個別懇談会⑤
- 16日(水) 避難訓練 安全点検
- 17日(木) 委員会活動
- 21日(月) 海の日の
- 23日(水) 給食最終日
- 24日(木) 第1学期終業式
- 25日(木) 夏季休業日(8月26日まで)
- 31日(木) 第6学年集団宿泊学習①(立山)
(~8月1日)



8月の行事予定

- 1日(金) 第6学年集団宿泊学習②
- 4日(月) 地域教育懇談会①
- 5日(火) 地域教育懇談会②
- 6日(木) 地域教育懇談会③
- 11日(月) 山の日の
- 13日(水) ~15日(金)
- 19日(月) 市小教研
市小学校教育研究会20周年記念
- 20日(火) 全校登校日 主体性を育む研修会
- 21日(水) 市小教研(事務部会)
- 27日(水) 第2学期始業式
- 28日(木) 給食開始日
- 29日(金) 教育実習開講式



※状況によっては、変更する場合があります。

自主活動の魅力

3年1組 犀川 かい

本校には子どもたちがそれぞれに自分の目当てに向かって伸び伸び活動できる「自主活動」という時間があります。朝活動までの時間に外で走る子どもや下校までの時間に環境を整える子ども等、思い思いの活動が見られます。昨年度からは、毎週水曜日の5限目に1・2・3年生の下学年、6限目に4・5・6年生の上学年が活動できる時間を設け、子どもたちがやりたいことにとことん向かえるようにしています。水曜日に設定したのは、子どもたちが自主活動の時間に目当てと見通しをもって取り組み、また、週の後半のくらしにもつながることを願っています。3年生の子どもたちにも、自主活動の時間の意味やよさが随分と浸透してきました。

Aさんは、3年生になって新しくできた仲間や担任の影響から朝のトレーニングに前向きに取り組むようになると、自主活動の時間にも仲間とグラウンドを走るようになりました。そして、4月・5月の2か月で80メートル走のタイムを1秒も縮められると、「いつか記録会のトップ10に入りたい。1年生からの憧れの場所に名前が入ったら嬉しい」と話し、自主活動の成果から大きな目標を掲げ、次の意欲につなげていました。また、3年生の総合的な学習の時間「南門一春夏秋冬」の学習が始まってしばらくした6月、Aさんは自主活動のある水曜日を狙ってナスの苗を持参し、昨年度の生活科の学習のリベンジをしたいというのです。自主活動の時間にナスの苗を丁寧に植え替えると様々な時間を使って世話を続け、つい先日、初のナスの収穫ができました。自分で育てたナスを両手で大切に持ち帰るAさんはきらきらした笑顔でした。さらに6月の後半、給食後に「先生、もう自主活動を始めてもいいですか」と話すAさん。なんとAさんは給食後の13時から自主活動を始め、5限目が終わる14時05分までの1時間以上を自分なりの自主活動の時間にしようと考えたのです。これは下学年ならではの活用方法で、二つ返事で快諾すると、Aさんは意気揚々とグラウンドや南門へ出掛けていきました。たった3か月の間ですが、自らの願いを実現しようとするAさんは、自分のやりたいことをする時間をみつようとしてきました。毎週の自主活動の使い方を自ら切り拓いていくことで、やりたいことにとことん取り組み、その成果を確かな自信につなげています。



【仲間とナスの収穫を喜ぶAさん】

小学校には様々な学習活動があり、子どもも先生も忙しい日々を過ごしています。しかし、敢えてその時間の一部を子どもたちが自由に活用できる時間にして子どもに委ねることで、子どもたちは学校のくらしや学習をより充実させようと自ら活動を生み出し、活気ある取組を展開していることに気付かれました。ある時は、自分の力を高める時間、またある時は、大好きな活動や学習の時間の補充にもなっています。それらは、一人ひとりが正に自己実現をはかりながら学校の時間を楽しんでいる姿であると感じています。今後も、子どもたち一人ひとりが自主活動を充実させられるよう支え、この時間や学校に来ることが楽しみになるようにしていきたいと思います。